

# 子どもたちの毎日の笑顔を支える力に、感謝!

「おはようございます。」朝、通学バスを下車し、2階のここに広場に子どもたちの元気な声が響きます。「今日も一日頑張るぞ!」と子どもたち。「待っていたよ。みんなで元気に頑張ろう!」と先生たち。朝のあいさつで、心のキャッチボールからスタートです。

4月23日(金)、「入学式」「始業式」から始まった2021年(令和3年)度、現在(6月10日)、264人の子どもたちが登校しています。昨年の6月と比べると約3倍の子どもたちが在籍し、256人は毎朝通学バスによって登下校をしています。現在8ルートの通学バスが運行し、20のバスストップを経由しながら子どもたちを学校に送迎しています。この通学バスの運行に関する役割を務めているのが、「広州日本人学校通学バス会」です。現在、4人の保護者(お母様方)が中心となって通学バス会を運営しています。

通学バス会は、子どもたちの人数、住んでいる場所、交通の状況などを検討し、バス会社と連携して通学バスの運行ルートや出発時刻、乗車人数などを決めていきます。本年度は、4月「入学式」「始業式」時点で、小学部新1年生、転入学の子ども合わせて64人増えることになり、3月

の段階から新しい通学バスルートの検討を続けてきました。そして、さらに5月、6月の転入生により、通学バスルートの再編成を行うことになりました。また、毎日の通学バスによる登下校時の状況を把握し、緊急連絡に備えていただいています。例えば、下校バスの発車時刻が遅れた際など、即時に各ルート委員さんを経由し保護者へ連絡をつなぐなど、子どもたちの安全と保護者の安心を確かにする通学バスの運行に尽力していただいています。

さらに、通学バス会は、「入学式」「授業参観」「学校保護者会」などの保護者を対象とした行事に対しても「保護者バス」を運行していただいています。7月には、「個人懇談会」、また、学年部で開催する各種説明会にも「説明会バス」を運行していく計画です。

最後に、本校は、今回ご紹介した通学バス会だけではなく、各ルート委員さん・バスストップ係さん、PTA役員さん、学級委員さん、おやじの会の方などたくさんの支える力のおかげで、広州日本人学校に在籍する子どもたちが、毎日元気に楽しく、安心して学校生活を送ることができています。心から感謝いたします。

